

旧松山発電所

土 壤 浄 化 報 告 書

平成14年12月

四国電力株式会社

本浄化報告書は、四国電力株式会社 旧松山発電所敷地内の揮発性有機化合物(テトラクロロエチレン)で汚染された土壌の浄化を実施した報告書であります。

1. 処理対象土壌

(1) 土壌量 ; 約 20 m³

(2) 土壌地質 ; 細砂

2. 処理要領 (土壌浄化計画書のとおり)

(1) 浄化方式 ; ガス吸引方式

掘削・堆積した汚染土壌に吸引配管を敷設し、この配管を通じて土壌中よりテトラクロロエチレンを真空吸引し、活性炭へ吸着・除去して浄化する方法

(2) 浄化手順

汚染土壌をシートで囲われた処理場へ運搬

土壌掘削時は、掘削作業直近と風下敷地境界付近の空气中テトラクロロエチレン濃度を検知管にて測定し、掘削作業直近では作業環境評価基準の管理濃度以下、敷地境界付近では検出されないことを確認する。(実績;いずれも検出下限値0.2ppm以下)

土壌をシートで覆い、吸引を開始する(実績;4~24時間/日)

浄化ガス中のテトラクロロエチレン濃度測定
(1回/日 実績;検出下限値0.2ppm以下)

土壌攪拌(2週間毎)

土壌分析(2週間毎)

テトラクロロエチレン濃度が環境基準値(0.01 mg/l)以下にて浄化作業終了

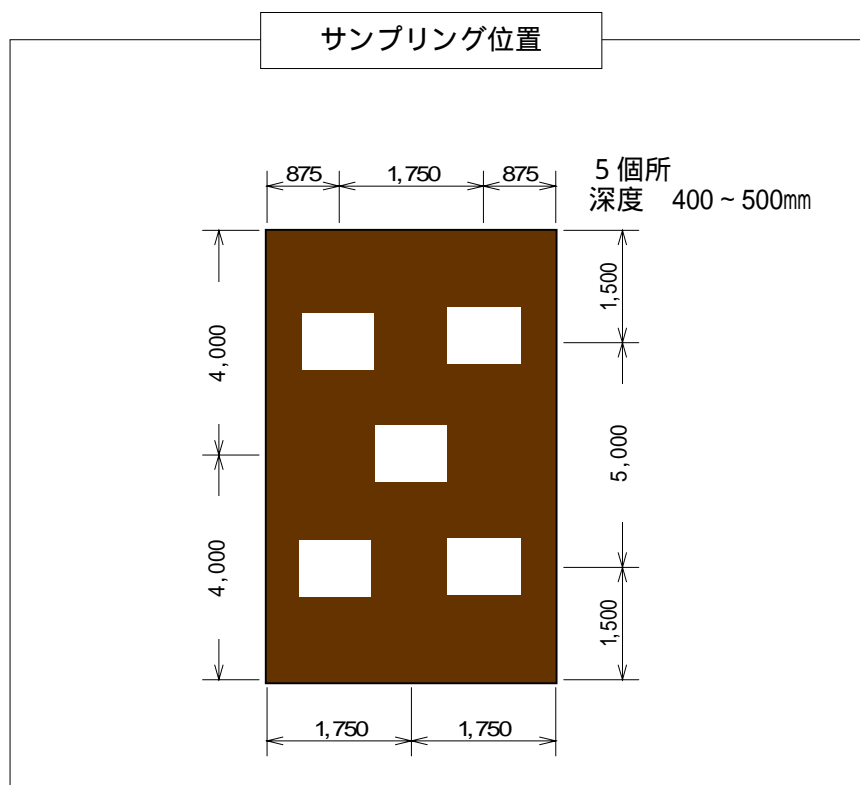
浄化土壌構内埋め戻し

3. 処理工程(実績)と処理対象土壌のテトラクロロエチレン濃度

< 処理工程実績 ; H14.10.09 ~ 11.22 >

	10/9 ~ 11	10/11 ~ 10/25 (2週間)			10/27 ~ 28	10/28 ~ 11/13 (2週間)			11/14	11/18 ~ 22
土壌掘削・バール作成	□									
吸引浄化		▬				▬				
吸引ガス濃度測定		(浄化運転時 毎日測定)				(浄化運転時 毎日測定)				
土壌分析										
土壌攪拌					□				□	
構内埋め戻し										▬

< 処理対象土壌のテトラクロロエチレン濃度 >

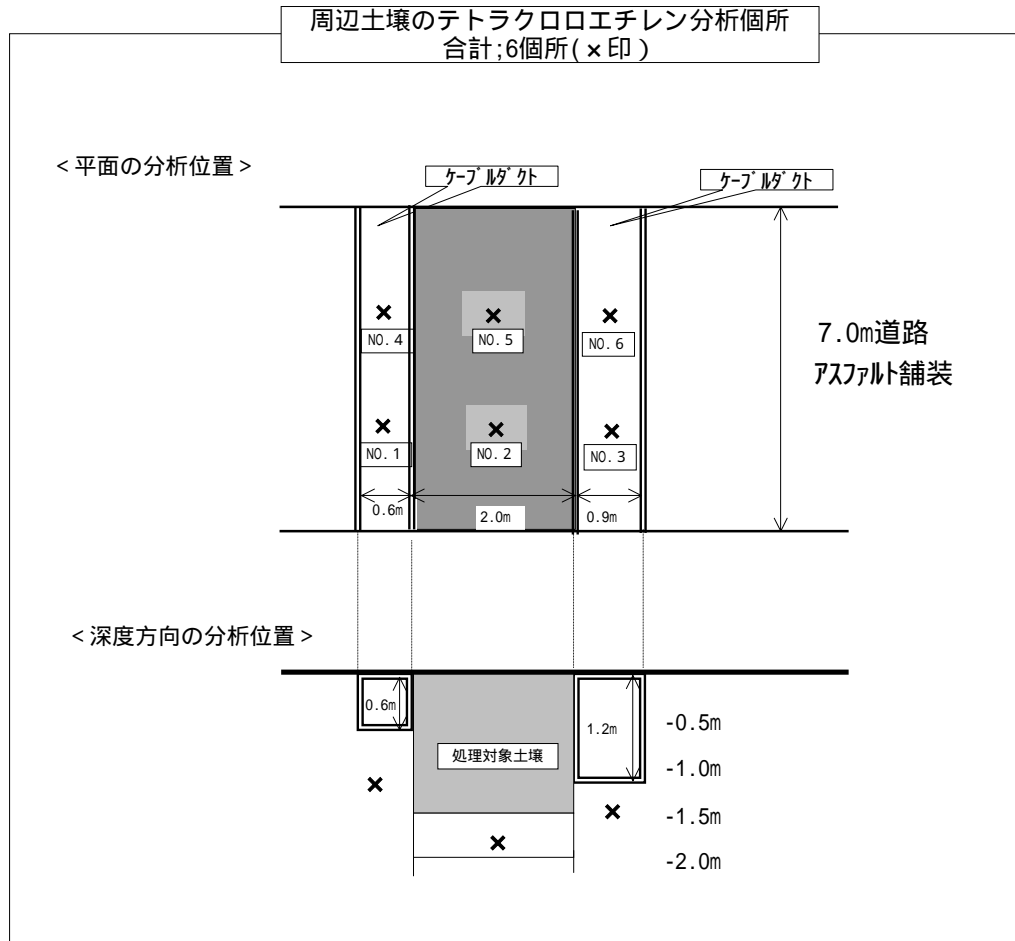


処理対象土壌
テトラクロロエチレン濃度測定値

試料採取箇所	テトラクロロエチレン濃度 mg/l			
	作業前(10/9)	攪拌1回目(10/28)	攪拌2回目(11/14)	定量下限値
NO.1	0.045	0.0011	0.0014	0.0005
NO.2	0.046	0.0012	0.0007	0.0005
NO.3	0.040	0.0014	0.0008	0.0005
NO.4	0.039	0.0010	0.0014	0.0005
NO.5	0.040	0.0011	検出されず	0.0005
平均値	0.042	0.0012	0.0010	----

4. 周辺土壌・地下水の分析

1) 周辺土壌；処理対象土壌周辺のテトラクロロエチレン分析結果

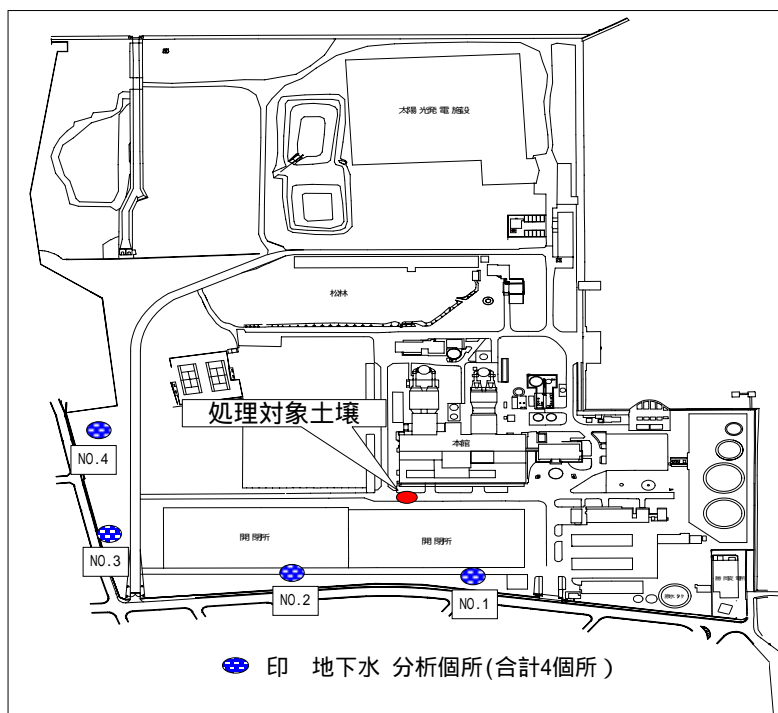


処理対象土壌周辺
テトラクロロエチレン濃度測定値

試料採取日時；H.14.10.9

試料採取箇所	テトラクロロエチレン濃度 mg/l	
	測定値	定量下限値
NO. 1	0.0037	0.0005
NO. 2	0.0067	0.0005
NO. 3	0.0030	0.0005
NO. 4	0.0051	0.0005
NO. 5	0.0073	0.0005
NO. 6	0.0067	0.0005

2) 周辺地下水；敷地境界付近のテトラクロロエチレン分析結果



地下水
テトラクロロエチレン濃度測定値

試料採取箇所	テトラクロロエチレン濃度 mg/l			
	作業前(10/4)	作業中(10/28)	作業後(11/25)	定量下限値
NO.1	検出されず	検出されず	検出されず	0.0005
NO.2	検出されず	検出されず	検出されず	0.0005
NO.3	検出されず	検出されず	検出されず	0.0005
NO.4	検出されず	検出されず	検出されず	0.0005

(注) 今後3年間モニタリングを実施します。

以上